
 ニュース

日本藻類学会 和文誌「藻類」、英文誌 *Phycological Research*

発行のお知らせと投稿のお願い

日本藻類学会誌改革ワーキンググループの答申（藻類40巻4号）および学会誌改革実務委員会の検討結果（藻類42巻1号）を受け、評議員会と総会（1994年3月、富山）において、日本藻類学会誌を和文誌と英文誌に分割して発行することが承認されました。これにより、1995年度から、和文誌は当年度3回（3、7、11月）、英文誌は年4回（3、6、9、12月）の割合で発行されます。日本人会員の方は年間で合計7冊を受け取るようになります。学会事務局では分割に向けて、現編集局や評議員会と連絡をとりながら編集体制の確立、投稿規定の改訂および新設などの作業を進めています。以下に現時点で予想されるそれぞれの学会誌の概略と投稿要領を説明します。和文誌、英文誌とも投稿規定は細部において変更の可能性を残していますが、原稿作成の便を図るために前もってお知らせします。

—和文誌—

これまでの「藻類」を誌名として踏襲しますが、内容を新たにして再出発することになります。また英語名は *Japanese Journal of Phycology (Sorui)* となる予定です。和文誌は従来の和文学術誌としての側面を受け継ぐと同時に、これまで以上に、情報誌、啓蒙誌およびニュースレターとしての性格を強くもつものになります。オリジナルの和文論文のほかに、藻類に関する解説、採集地や研究技術などの情報、その他多くの企画記事を掲載します。掲載を予定している内容は概略次のようです。論文とともに企画記事にもどしどし原稿をお寄せください。そのほか、学会事務局や編集局に対するご意見、ご要望など、藻類と日本藻類学会に関する記事なら歓迎です。積極的に掲載していきたいと思えます。

1. 和文論文、短報、速報などのオリジナル論文（従来通りの藻類に関する論文。原稿作成については投稿規定を参照してください。）
2. 総説（藻類学諸分野の研究総説。ご要望をお寄せください。）
3. 解説（分類群やトピックについての解説記事。シリーズで掲載することも考えられます。ご要望をお寄せください。）
4. 採集地紹介（藻類の採集に適した各地の湖沼や磯の概略、交通などの紹介）
5. 藻類分布資料（日本新産や地域の新記録、簡単な調査記録など）
6. 藻類誌（県、地域の藻類相の紹介）
7. 地域活動（採集会や同好会、啓蒙など藻類に関する地域活動の紹介）
8. 業界ニュース（藻類産業界の動向、トピックスの紹介）
9. 研究技術紹介（新しい技術、秘蔵のこつなど）
10. 研究機関紹介（国公立、民間の藻類研究機関、研究室の紹介）
11. 藻類の教材化（実践例、アイデア）
12. 藻類 Q and A（藻類に関する誌上論議や専門家の回答）
13. 学会事業（学会主催の採集会や講演、講習会などの紹介）
14. 学会、シンポジウム情報（他学会主催の研究集会、講演会などの情報を掲載）
15. 新刊紹介（藻類に関する和洋書の書評と紹介）
16. その他の投稿記事（藻類と藻類学会に関することならジャンル、形式は問いません。）
17. 会員入退会、移動、住所変更

18. 学会録事

19. 春季大会および秋季シンポジウムの案内、プログラムおよび講演要旨

以上の記事の他に、日本学術会議より「日本学術会議だより」の提供があります。

掲載が決定された原稿のフロッピーディスク入稿のお願い

編集の効率化と経費削減の両面から、和文誌では Desk Top Publishing (DTP) の手法を取り入れることになりました。掲載が決定されたら、論文を含むすべての原稿は原則としてフロッピーディスクで提供していただくこととなります。(注：投稿の時点ではフロッピーディスクは必要ありません)。したがって、投稿にあたっては、図と表以外はパーソナルコンピューター上のワードプロセッサ(ワープロ)またはワープロ専用機を使用して作成してください。DTP 編集を確実なものにするために、ワープロで原稿を作成するためのルールが必要です。以下に、ワープロ入力と提出用フロッピーディスクの作成について、基本的なルールを説明します。

ワープロによる原稿作成のルール

ここでは、特に次の3点をお願いしたいと思います。これは編集をスムーズに進めるために大変重要です。特に難しいことはありませんので、ぜひともご協力をお願いします。そのほか、原稿作成の詳細は投稿規定を参照してください。また、ワープロ入力が困難な方は編集委員会にご相談ください。善処します。

1. スペースキー(空白キー)使用の制限

スペースキーは学名や英単語の区切りだけに使用してください。編集上、文字としての意味をもつ空白は単語の区切りだけで、引用文献の2行目以降の字下げの空白などは書式に属するものです。引用文献の字下げにはインデント機能を使用してください。インデント機能は、段落の1行目と2行目以降の行頭を何文字空けて印刷するかを決めるもので、ほとんどのワープロに備わっています。字下げにスペースキーを使うと、文字の挿入や削除をしたり、文字数やサイズの設定を変えた場合、空白がずれてしまいます。インデントはこのような場合でも空白を行頭に維持する働きをします。

2. リターンキー(改行キー)使用の制限

改行の使用は段落を変えるときだけにしてください。編集では、改行コードの有無で段落を判断して割りつけていきます。ひとつの段落で何度も改行キーを使うと、割り付けのときに改行コードの数だけ段落ができてしまい、編集ミスの原因になります。ワードラップ機能(英単語が行末にかかるとき、単語が途中で切れないように単語全体を次の行に送る機能)のないワープロで英単語が途中で切れることを避けるために1行ごとに改行を入れることがあります。これはやめていただきたいことです。提出原稿では英単語が2行にわたってもかまいませんので、改行しないようにしてください。編集行程でワードラップと字詰めや間隔調整などの処理を行いますので、最終印刷原稿では単語が途切れることはありません。

3. 全角と半角文字の使用制限

数字とアルファベットはすべて半角で入力してください。またカタカナは全角を使用してください。

掲載が決定された原稿のフロッピーディスク入稿のルール

ワープロで作成された文書は、文字情報(テキスト)の他に、書体や、イタリック、ボールド、上付きなどの文字スタイル、そして1行の文字数、1ページの行数などの頁情報をもっています。一般に、テキスト以外の情報はそれぞれのワープロに固有の形式で保存されています。そのために、あるワープロで作成された文書はそのままでは他のワープロでは読むことができません。つまり、互換性がありません。異なるワープロで作成された文書を扱うには、二つの方法があります。ひとつは、これらの書式を変換するプログラムが利用できる場合で、オリジナルと同じ書式をもった原稿を編集委員会のコンピューター上に再現することができます。もうひとつは、書式を変換するプログラムがない場合で、このときは原稿からテキストだけを読み込み、改めて原文と同じ書式を他のワープロ上で設定することになります。現在のほとんどのコンピューターやワープロはテキストのレベルで互換性をもっています。多くのワープロには、「テキストファイルで保存」あるいは「テキスト形式で保存」

などの項目があり、この方法で保存して文書はコンピューターの機種が異なっても読み出すことができます。しかし、古い型のワープロには、テキストファイル形式の保存ができないものがあります。その場合は、編集委員会で処理することはできませんので、原稿作成にあたってはできるだけ新しい機種、新しいバージョンのワープロをご使用ください。

編集委員会で採用する予定の DTP システムで書式まで含めたデータ変換が可能なワープロは、NECPC-9801 シリーズの一太郎 (MS-DOS 版, V. 3 以上) と Macintosh の EG-Word, Mac Write II です。これらのワープロに限り固有の様式で保存したファイルを送っていただいて結構です。ご使用のワープロが上記のいずれかの形式に変換して保存する機能を備えている場合は、その機能を使って保存した文書をお送りください。それ以外はすべてテキストファイルで提出してください。PC-9801 シリーズや IBM-PC など MS-DOS 上のワープロで作成した文書は、MS-DOS でフォーマットしたディスク (5 インチまたは 3.5 インチ) にテキストファイルとして保存してください。また、現時点では Windows 上のワープロはサポートしておりませんので、MS-DOS のファイルで保存 (たとえば、Windows 版一太郎の文書を MS-DOS 版一太郎 v. 3 のファイルとして保存) してください。ワープロ専用機 (オアシスなど) をご使用の場合、提出用のディスクを MS-DOS のフォーマットで初期化し、このディスクにテキスト形式で保存してください。最近のワープロ専用機のほとんどはその機能を備えています。なお、互換性が不明の場合は和文誌編集委員会までお問い合わせください。

今年度の「藻類」に投稿された原稿の和文誌への掲載について

現在の「藻類」に投稿された和文論文と記事でも、「藻類」42巻4号の編集が終了した後に掲載が決定された場合は和文誌に掲載することになりますので予めご了解ください。

和文誌への投稿の開始期日

和文誌へのオリジナル論文、企画およびその他の記事の投稿は、基本的に7月1日から受けつけます。

和文誌に関する問い合わせ及び原稿の送付先

〒305 つくば市天王台1-1-1 筑波大学生物科学系 井上 勲

電話 0298-53-6655 ファックス 0298-53-6614

E-mail iinouye@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

—英文誌—

英文誌は Phycological Research という新誌名のもと、雑誌の体裁・編集体制を一新し、真の国際誌としてのさらなる発展をめざします。誌面は現在よりやや大きい A4 変形版 (Short A4) となり、初年度は各号約64ページの予定です。英文誌の編集はこれまで通り日本で行いますが、印刷は当面 Blackwell Scientific Publications (Australia) Pty Ltd との契約により行い、会員へは海外の印刷所から航空便 (Economic Airmail) で発送されます。編集は今後の海外、特にアジア・太平洋地域の藻類研究者との協力関係の充実を考え、外国人会員にも副編集長 (Associate Editor, 現在の編集実行委員に相当) や編集委員 (Editorial Board Advisor) として編集に加わっていただきます。

英文誌における原稿掲載の形態は REVIEW ARTICLE, ORIGINAL RESEARCH ARTICLE, RESEARCH NOTE, BOOK REVIEW とこれまでと大きな変更はありません。編集の手順でこれまでの「藻類」と異なるのは、投稿された原稿が英文誌編集委員会による審査を経て受理された後、さらに出版社の専任の編集者 (House Editor) により論文の体裁・英語などのチェックが行われたのち出版される点です。財政上の理由から当分の間、別刷代の学会負担は行いません。

英文誌においても掲載が決定された原稿のフロッピーディスク入稿を歓迎します。パーソナルコンピュータ上で動くほとんどの市販のワープロに対応できると思われませんが、不明な点については英文誌編集委員会にお問い合わせください。

英文誌への投稿の開始期日

英文誌への原稿の投稿は、基本的に7月1日から受付ますが、図版のサイズなどに大きな変更点があるのをご注意ください。ただし7月1日以降でも今年度「藻類」4号までに掲載可能な限り、現在の「藻類」への投稿も歓迎します。

英文誌に関する問い合わせ及び原稿の送付先

〒657 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学理学部生物学科 川井浩史

電話 078-803-0552 ファックス 078-881-4492

E-mail kawai@gradura.scitec.kobe-u.ac.jp

和文誌投稿案内

- I. 編集の方針と投稿資格 本誌には藻学に関する未発表の和文論文、短報、速報のほか、総説、大会講演要旨、藻類に関する企画および投稿記事(採集地案内・分布資料・新刊紹介・シンポジウム紹介・学会事業案内など)を掲載します。論文および短報は和文誌編集委員会(以下編集委員会)が依頼する審査員による審査を経たのちに編集長によって掲載の可否が決定されます。速報およびその他の投稿原稿の掲載の可否は編集長と編集委員会で判断します。なお、編集委員会が依頼した場合を除いて、投稿は会員に限ります。共著の場合、著者の少なくとも一人は会員であることが必要です。
- II. 制限頁 論文は刷り上がり10頁、総説16頁、短報4頁以内を無料とします。頁の超過は制限しませんが、超過分については超過頁代(金額未定)が必要です。その他の報文、記事については、原則として2頁以内を無料としますが、編集委員会の判断で6頁を上限として超過を認めることがあります。速報は2頁以内とします。速報は超過頁と同じ扱いになりますので有料です。2,000字で刷上がり1頁となる見当です。そのほか、折り込み頁、色刷りなどの費用は著者負担となります。
- III. 原稿執筆・投稿要領 原著論文および短報は下記の様式に従って執筆し、オリジナルの原稿と図表各1組とそれぞれのコピー2組(写真を含む図版はこれを写真複写したもの。電子複写は不可)を編集委員会に提出してください。その他の報文については特に様式の制限はありませんが、最新の号を参照し、必要に応じて編集委員会に打診してください。また、原稿の種類を問わず、次の規則に従ってください。1) テキストファイル形式で保存できるワードプロセッサを用いて作成し、A4用紙に1行40字、25行で印刷する。2) 当用漢字、新かなづかいを使用する。3) 本文中の句読点は「、」と「。」を用い、「、」や「。」の使用は避ける。4) 学名と和名の使用: 新種記載や学名の使用は最新の国際植物命名規約に従い、和名にはカタカナを使用する。5) 本文中ではじめて使用する学名には命名者名をつける。また、属と小名には下線を引き、イタリック指定をする。6) 単位系と省略表記: SI単位を基本とします。原稿中で使用できる主な単位と省略形は次のとおりです(時間: hr, min, sec, 長さ: m, cm, μm , nm, 重量: g, mg, 温度: $^{\circ}\text{C}$, 波長: nm, 光強度: lux, $\mu\text{E}\cdot\text{m}^{-2}\text{s}^{-1}$, Wm^{-2} , $\mu\text{mol}\cdot\text{m}^{-2}\text{s}^{-1}$ など)。そのほか、執筆にあたっては以下の投稿原稿の構成およびワープロ入力の注意の項を参照ください。
- 投稿原稿の構成 原著論文は、1) 標題、2) 英文要約、3) 本文、4) 引用文献、5) 表と図およびその説明(英文)の順にまとめてください。短報は本文の構成が異なる点を除いて、原著論文に準じます。
1. 標題と要約 欄外見出し(英文25文字以内)、標題、著者名、所属、住所、著者名(英文)、英文標題、英文要約(200語以内)、英文キーワード(5-10語、アルファベット順)、著者名(英文)、宛先(英文)の順に記入してください。

2. 本文 論文は原則として緒言，材料と方法，結果，考察（または結果と考察），謝辞で構成されます。短報ではこれらの項目を区別せず，一連の文章にすべてが含まれるように構成してください。原著論文，短報とも必要に応じて図（線画や写真）や表を用い，原稿中にそれぞれ挿入を希望する位置を指示してください。本文中での文献，表および図の引用は次の例に従ってください。

..... 細胞表面には多数の突起がある (Fig. 5, Figs. 7-9).が知られている (Yamada 1949, Yamada and Yamada 1950, Yamada *et al.* 1951). 岡村 (1907, p56) は,を示している.の大きさには地域により明瞭な差異が認められる (Table 3).

3. 引用文献 本文中で引用したすべての文献を著者名のアルファベット順に列挙してください。原著論文と単行本，叢書中の分冊等では引用の方法が異なります。下記の例にならってください。

- (単行本) 岡村金太郎 1936. 日本海藻誌. 内田老鶴圃, 東京.
Christensen, T. 1994. *Algae. A Taxonomic Survey*. AiO Print Ltd., Odense. (著者, 出版年, 標題, 出版社, 出版社の所在地の順)
- (単行本中の1章) 有賀祐勝・横浜康継 1979. 光合成・呼吸の測定. p. 413-435. 西沢一俊・千原光雄 (編) 藻類研究法. 共立出版, 東京.
Drebes, G. 1977. Sexuality. p. 250-283. In: Werner, D (ed.) *The Biology of Diatoms*. Blackwell Sci. Publ., London. (著者, 出版年, 引用した章の標題, 同掲載頁, 編者, 単行本標題, 出版社, 出版社の所在地の順)
- (叢書中の分冊) Krammer, K., Lange-Bertalot, H. 1986. *Bacillariophyceae. 1. Teil: Naviculaceae*. In: Ettl, H., Gerloff, J. and Heynig, H. (eds.) *Süßwasserflora von Mitteleuropa. No. 2/1*. Gustav Fischer Verlag, Stuttgart. (著者, 出版年, 引用した章の標題, 編者, 単行本標題, 版番号, 分冊番号, 出版社, 出版社の所在地の順)
- (雑誌中の1論文) 筒井 功・大野正夫 1992. 和歌山県白浜産クロメの成長・成熟と形態の季節的变化. 藻類 40: 39-46. (著者, 出版年, 論文標題, 雑誌名, 巻, 同掲載頁の順)
Yoshida, T. and Silva, P. C. 1992. On the identity of *Fucus babingtonii* Harvey. *Jpn. J. Phycol.* 40: 121-124. (著者, 出版年, 論文標題, 雑誌名, 巻, 同掲載頁の順)
4. 表と図, 及び説明 表と図は印刷版下として使用しますので原寸大で作成してください。印刷頁は2段組みで幅 14 cm, 1段で幅 6.6 cm, 縦 20.4 cm です。表, 図ともに説明のためのスペースを含めて印刷範囲に収まるように作成してください。写真は光沢印画紙に鮮明に焼き付け, 不要なスペースをカットしてレイアウトしてください。図や写真には倍率を示すスケールを入れ, 必要に応じてレタリング用の矢印や文字などを貼り付けてください。表の罫線は横線のみを用いるようにしてください。表, 図ともに, 脱落防止のためにカバーをつけ, その下端に著者名, 図の番号を記入してください。送付にあたっては, 厚手の紙で保護してください。

- IV. ワープロ入力の注意 本誌は DTP (Desk Top Publishing) によって作成されます。掲載が決定された後, 最終原稿のファイルが保存されたフロッピーディスクを提出していただき, 編集委員会ではこれを用いて印刷版下を作成します。したがって, あらかじめ, テキストレベルでデータ互換が保障された (テキストファイル形式でファイルを保存できる) パーソナルコンピューター上のワードプロセッサまたはワープロ専用機で原稿を作成するようにしてください。互換性が不明な場合は編集委員会までお問い合わせください。編集作業を円滑に行うために, 原稿作成にあたっては次の点に注意して原稿を作成するようお願いいたします。1) 学名や英単語の区切り以外にはスペースキーを使用しない。2) 段落行頭や引用文献の字下げにはワープロのインデント機能を使用する。3) 改行 (リターンキー) の使用は段落の終わりだけに限定し, 1行ごとの改行の挿入はしない (DTP 編集では, 改行コードの有無で段落を判断します)。4) 数字とアルファベットはすべて半角で, カタカナは全角で入力する。5) ギリジャ文字や独, 仏, 北欧文字を他の文字で代用しているときは, 出力原稿中に赤鉛筆でその旨明記する (例: ü を u, μ を u, é を e, ß を B, Φ を O で代用など)。6) 数学記号などの特殊記号をワープロの外字で使用しているときは出力原稿中にその旨明記する。

V. 校正と別刷 校正は初校のみとします。DTP の最終割り付けが済み次第、レーザープリンター（300 dpi 程度の解像度）で出力したものを著者に送ります。ためし刷りですので写真等は最終印刷のイメージより劣りません。校正はレイアウトと提出したファイルからデータ変換が正しく行われているかを確認するにとどめ、図や写真の最終チェックは編集委員会におまかせください。校正は受領後3日以内に編集委員会へ返送してください。別刷は原著論文、短報、総説に限り50部を学会で負担しますが、それ以外は有料です。校正送付時に同封される別刷申込書に所定の事項を記入して返送してください。

英文誌投稿案内

PSYCHOLOGICAL RESEARCH

NOTICE TO CONTRIBUTORS

Psychological Research is published by the Japanese Psychological Society and complements the *Japanese Journal of Psychology*. The purpose of *Psychological Research* is to facilitate international exchange of psychological information by publishing researches dealing with all aspects of psychology.

Manuscripts are accepted on the understanding that the content has not been published or accepted for publication elsewhere. All manuscripts will be reviewed by at least two referees selected by the Editor and Associate Editors. The criteria for publication are the scientific merit of the work and the discussion presented. Final responsibility for acceptance of manuscripts lies with the Editor. The Editor and Publisher reserve the right to modify manuscripts to eliminate ambiguity and repetition and to improve communication between author and reader.

Style of manuscripts

Manuscripts must be written in English. Spelling should be either British or American (current usage), but must be consistent throughout the manuscript. Authors not writing in their first language are asked to have manuscripts checked for grammar and syntax before submission. Manuscripts should be written so that they are intelligible to the professional reader who is not a specialist in the particular field. Manuscripts which do not conform to these requirements may be returned to the author prior to review for correction.

Contributions may take the form of REVIEW ARTICLES, ORIGINAL RESEARCH AR-

TICLES, RESEARCH NOTES and BOOK REVIEWS in *Psychological Research*. ORIGINAL RESEARCH ARTICLES and RESEARCH NOTES should not normally exceed 12 and 4 printed pages respectively. Authors wishing to contribute REVIEW ARTICLES should contact the Editor or Associate Editors before submission.

Submission of manuscripts

Manuscript for publication should be submitted in triplicate (one original and two copies) directly to the Editor:

Dr Hiroshi Kawai, Department of Biology, Faculty of Science, Kobe University, Rokkodai, Kobe 657, Japan.

The entire manuscript, including references, should be typed double-spaced on one side only of the paper, with margins of at least 30 mm. All pages should be numbered consecutively in the top right-hand corner. The manuscript should be presented in the following order:

Title page: This should contain the title of the contribution, and the name(s) and address(es) of the author(s). The full postal address, telephone and facsimile numbers (and Internet E-Mail address if available) of the author who will receive correspondence and check the proofs should be included, as well as the present address of any author if different from that where the work was carried out. The main title should, where possible, contain the major key words used in the body of the manuscript; the title should include the class/division designation when a generic or specific name is used but should not contain authorities for scientific names. A short running title (less than 40

characters including spaces) should also be provided.

Abstract: All manuscripts must include a brief but informative Abstract intelligible without reference to the main text. It should not exceed 300 words and describes the scope of the work and the main findings. The names of organisms used (including authorities) should be given, and new taxa that are described should be mentioned. References to the literature should not be included.

Key words: Key words (3–10) should be provided below the Abstract to assist with indexing of the article.

Introduction: This section should include sufficient back-ground information to set the work in context. The aims of the manuscript should be clearly stated. The introduction should not contain either findings or conclusions.

Materials and Methods: This should be concise but provide sufficient detail to allow the work to be repeated by others. The source of material should be given in detail, where possible. The strain or clone numbers of cultures used, and their availability must be given.

Results: Results should be presented in a logical sequence in the text, tables and figures; repetitive presentation of the same data in different forms should be avoided. The results should not contain material appropriate to the Discussion.

Discussion: This should consider the results in relation to any hypotheses advanced in the Introduction and place the study in the context of other work. Only in exceptional cases should the Results and Discussion sections be combined.

Acknowledgements: Financial and technical assistance may be acknowledged here. Anonymous reviewers should not be acknowledged. It is the authors' responsibility to obtain written permission to quote material that has appeared in another publication.

References: In the text, references should be made by giving the authors' name with the year of publication in parentheses. If there are two authors use 'and' to link authors names in all cases. When reference is made to a work by three

or more authors, the first name followed by *et al.* should be used on all occasions. If several manuscripts by the name author(s) and from the same year are cited, a, b, c, etc. should be put after the year of publication. Within parentheses groups of references should be cited in chronological order.

References should be listed in alphabetical order at the end of the manuscript in the following form: Maegawa, M. & Kida, W. 1991. Distribution pattern of *Ecklonia cava* (Phaeophyta) marine forest in the coast of Shima Peninsula, central Japan. *Jpn. J. Phycol.* 39: 173–178.

South, G. R. & Whittick, A. 1987. *An Introduction to Phycology*. Blackwell Scientific Publications, Oxford, 350 pp.

Wynne, M. J. 1981. Phaeophyta: Morphology and classification. In Lobban, C. S. & Wynne, M. J. [Eds] *The Biology of Seaweeds*. Blackwell Scientific Publications, Oxford, pp. 52–85.

Titles of journals should be abbreviated according to the *SERIAL SOURCES for the BIOSIS DATA BASE*, available in most libraries.

Tables: Tables must be typed on separate sheets. They should be numbered consecutively in Arabic numerals with a descriptive title above the table. Column headings should be brief, with units of measurement in parentheses. Use superscript letters (not numbers) for footnotes and keep footnotes to a minimum. Vertical lines should not be used to separate columns. The approximate position of tables should be indicated in the margin of the manuscript.

Figures: Only scientifically necessary illustrations should be included. All illustrations (including photographs) are classified as figures and should be numbered consecutively. Photographs will **not** be reduced or enlarged so must be supplied so that they will fit within column width (82 mm) or the full text width (175 mm), and should be no more than 180 mm in length. Line figures should be drawn or grouped to fit these dimensions after reduction. A bar scale must be included for all photographs with the scale indicated above or beside the bar. Each figure should be labelled on

the back indicating its number, name of author(s) and orientation of the figure.

Line drawings and graphs should be professionally drawn and lettered, using black ink on white paper. Allowance should be made for lines and text becoming smaller and thinner on reduction. These figures should be supplied as bromides or laser printed on smooth, clean, white paper.

Photographs should be provided as sharp, glossy, black and white prints mounted on stiff white paper and covered with a protective sheet. Individual photographs forming a composite figure should be of equal contrast to facilitate printing, and should be accurately squared and mounted with edges touching. Copies of photographs for triplicate must be of photographic quality. The full cost of reproducing colour photographs will be charged to the authors. When colour figures are preferred submit original colour slide(s)/negative(s) as well as three sets of colour prints.

Figure legends: Legends should be self-explanatory and typed on a separate sheet. The legend should incorporate definitions of any symbols used. The approximate positions of figures should be indicated in the margin of the manuscript.

Manuscripts on disk

Authors are encouraged to provide final copy in machine-readable form, but disks should not be sent until the manuscript has been accepted. It is essential that the final version of the hard copy and the file on the disk are identical. If they are different, the disk copy will be used.

Authors should supply their accepted manuscripts as formatted text on disk (most word-processing format can be handled). It is essential that the hardware and the word processing package are specified on the disk.

The manuscript should be divided into separate files for text and tables, and the following instructions adhered to.

- (1) Do not insert a line space above or below headings, or between paragraphs.
- (2) Use only one space after punctuation marks.

- (3) Do not indent paragraphs or use a carriage return (enter) at the end of lines within a paragraph.

- (4) Type the text unjustified and without end-of-line hyphenation, except in the case of compound words.

- (5) Use italics where appropriate, not underlining.

- (6) Use single quotation marks.

- (7) Do not use the letter l (el) for the number 1 (one), or the letter O (upper case o) for the number 0 (zero).

- (8) Page numbers should not be included in the manuscript file; the pages should be hand numbered.

- (9) Tables are difficult to set from disk. Use only one Tab (not spaces) to separate each column. It is essential that an adequate hard copy is supplied.

Abbreviations and units

SI units (metre, kilogram etc.) should be used wherever possible. Statistics and measurements should always be given in figures; that is, 10 mm, except where the number begins the sentence. When the number does *not* refer to a unit of measurement, it is spelt out, except where the number is greater than nine. Confusing mathematical notation, and particularly subscripts and superscripts, should be avoided; negative exponents are acceptable as long as they are used consistently. Use only standard abbreviations. The word 'Figure' should be shortened to Fig. unless starting a sentence.

Scientific names

The complete scientific name (genus, species and authority) and cultivar or strain where appropriate should be given for every organism when first mentioned. The generic name may be abbreviated to an initial in subsequent references except where intervening references to other genera would cause confusion. Common names of organisms, if used, must be accompanied by the correct scientific name on first mention.

Checklist

Before sending off your manuscript, please check that: (1) triplicate (one original and two copies) are enclosed; (2) the reference section is in proper format; (3) all references cited in the text are included in the reference section; (4) the pages are numbered; (5) the level of headings are indicated as A, B or C; (6) that you have indicated where tables and figures are to be inserted.

Proofs and Offprints

Page proofs only will be sent to the author directly

from the printer and they should be returned to the Editor within 3 days of receipt. Alterations to the text and illustrations are unacceptable at proof stage and authors will be charged for changes from their original manuscript.

An offprint order from giving the cost of offprints will be sent to the corresponding author with the proofs. The order and payment should be returned with the corrected proofs within 3 days of receipt. Offprints are sent out within 3 weeks of publication by surface mail.

藻類絵はがきの会からの報告とお願い

日本藻類学会会員有志で構成されている「藻類絵はがきの会」では、学会誌の充実と発展のための資金援助と、藻類の普及・啓蒙という2つの目的を持って、藻類の絵はがきを作って有償で頒布しています。

会員の皆様のご協力によって、1993年度は約105万円の収入を得、印刷経費等を差し引いた全額31万円あまりを日本藻類学会に寄付することができました。皆様のご協力を感謝し、ご報告いたします。

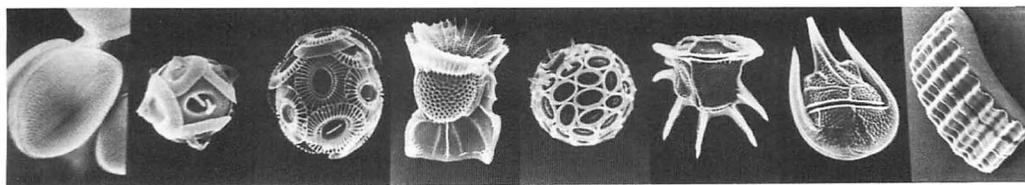
1994年度は微細藻類絵はがきシリーズを計画し、すでに「ミクロの造形（微細藻類の走査電子顕微鏡写真）」8枚組、頒布価格500円を印刷いたしました。頒布をご希望の方は、下記に葉書・電話・FAXのいずれかでご連絡下さい。なお、昨年度印刷いたしました海藻絵はがきも残部がありますので、こちらのご希望も合わせてご連絡下さいますようお願い申し上げます。

「藻類絵はがきの会」

〒184 小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学生物学科気付

TEL: 0423-25-2111 内線 2665 (石川)・2674 (片山)

FAX: 0423-24-9832



第15回国際海藻シンポジウム（お知らせ）

標記シンポジウムが1995年1月8～14日にチリーのヴァルディヴィアで開催されます。招待講演と6題のミニシンポジウムのほか、一般講演と展示発表が行われます。参加申込みは1994年7月1日を過ぎると参加費が割高になります。詳細についてお知りになりたい方は、同シンポジウム事務局にセカンドサーキュラーの送付を請求するか、または東京水産大学の有賀宛お問合せください。

シンポジウム事務局：The Secretariat

XVth International Seaweed Symposium

Instituto de Botanica, Universidad Austral de Chile

Casilla 567, Valdivia, Chile

Tel. 221313, Fax. 56-63-212953/56-63-212589

招待講演：

- I. A. Abott : How many species are there in *Gracilaria*?
- D. Müller : Virus infections in seaweeds.
- P. Bixler : Recent carrageenan developments: University/industry cooperation or toleration?
- B. Santelices : Seaweed developments in South America. The last decade.

ミニシンポジウム：

1. Integrating aquaculture: The use of seaweeds as biofilters.
2. Seaweeds and pollution: Effects on and remedies for natural and anthropogenic contaminants.
3. Disfunctions and diseases in Seaweeds: Current knowledge and perspectives.
4. Biogeography and systematic of marine algae.
5. Photosynthetic carbon metabolism and its influence on algal polysaccharide synthesis.
6. Chemical structure of seaweed polysaccharides.

(有賀祐勝)